

備前市事務事業評価シート

事業の概要		平成18年度		根拠法令・例規等	障害者自立支援法
事業開始年度					
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	問合先 担当課(室) 職・氏名 電話
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目	施策	03	障害者(児)福祉	
事務事業名		08	自立支援給付事業		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	障害児・者(身体・知的・精神)
目的(何のために)	やむを得ず地域での生活が困難になり、入所施設等での生活を行う者に対し支援を行う。在宅生活の障害者にヘルパーを派遣し、在宅生活の支援を行う。
行政活動(どのような方法で)	障害者等からの申請により、心身の状況をアセスメントし決定を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	障害者自身の地域生活を支援するだけでなく、介護者の生活も容易にし、更には社会参加と自立を支援する。

事業の実績		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
活動	福祉サービス利用者数	人	-	124	159
	直接事業費	千円		246,295	255,068
	必要人員	人		0.36人	2,675
	人件費	千円		0.22人	1,669
	事業費	千円	0	248,970	256,737
	国・県・市・その他	千円		184,721	191,301
実績	受給者負担金	千円			
	線入金	千円			
	市債	千円			
その他()	千円				
一般財源	千円	0	64,249	65,436	
受益者負担比率	%				

結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
福祉サービス利用者数	人		124	159
対前年比	%	-		128.2%
活動コスト	円		248,970,000	255,068,000
単位当たりコスト	円	#DIV/0!	2,007,823	1,604,201

事業の成果		年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
福祉サービス利用者数	目標値(A)			124	159	到達目標年度
	実績値(B)					
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

成果指標設定の考え方・式や説明

申請に基づく事業のため、目標値設定は困難。

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成20年度事業)	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	判定理由・課題認識 法令に基づき認定されるため、目的、対象、内容については妥当である。
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> B
	手続	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識 法律等で支給額及び事務処理手順は定められている。
有効性の評価	目的達成度		有効性評価<A~E> B
	市民参画度		判定理由・課題認識 支給要件に該当する者の申請漏れがないように周知をする必要がある。

平成21年度の状況		目標値	結果指標量①	結果指標量②	結果指標量			
状況		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	法令に基づき認定されるため、目的、対象、内容については妥当であり、今後も継続して実施する。							

総合評価		評価区分<A~E>	妥当性
障害者サービスの基本となるものであり、ニーズも多く有用な事業である。	B	B	

平成22年度以降の方向性・内容		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性		○						
説明	ニーズも多く有用な事業であるため、継続して実施する。							
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果				